

カードゲーム～サオリの学び～

ねらい: 祖父母の故郷にきたペルー生まれの日系 3 世の気持ちに寄り添い、異なる文化的背景を持った人と共に生きることとそのあり方について考える。異文化理解や共に生きていくためのカギは自分の中にあることに気づき、多様な社会の中で自分はどのように行動するのかを考える機会にする。

对象:中学生~


形式: 4 名程度グループワーク

所要時間: 50 分～

準備するもの：パソコン、プロジェクター、カード(P39/グループ数分)、解説(P41～42/進行役用1枚)

みんなへの手紙(P43/人数分)、「サオリの自己紹介」及び解説用カード(沖縄 NGO センターの HP より電子データをダウンロード)

学習の流れ※本書の教材 5 フォトランゲージ学習後または、沖縄の移民について事前に紹介しておくにより理解が深まる。

進行	主な学習の活動	進め方とポイント	備考／準備物
導入 (5分)	・サオリの自己紹介をスライドで見る。	・パワーポイントで見せながら、サオリの自己紹介をする。 スライド 1 から 5 スライド 5「私は変わりました」で一度止める	<input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> サオリの自己紹介※HP から事前にデータをダウンロード
展開① (10分)	・どのようなカードがあるのか確認する。 ・グループ内で話し合いながら「ペルーにいる時」と「沖縄にいる時」にカードを仕分ける。	・各グループにカードセットを配る。 ※授業者がとくに深めていきたい内容に沿ってカードを減らす等して、展開③で時間を多く取ることも可能。 ・スライドの自己紹介を元にグループ内で話し合いながら、「ペルーにいる時のサオリ」と「沖縄にいる時のサオリ」にカードを分けるように伝える。 ・カードを分ける際、なぜそう思うのか、話し合いながら分けることを伝える。	<input type="checkbox"/> カード ※事前にカットする。
展開② (15分)	・どのように分けたのか共有する。 ・発表者のグループと自分達のグループのカードの分け方の違いがあるか確認する。 ・解説を聞く	・ひとグループ選び、代表者に黒板でグループの分け方を紹介してもらう。他のグループ違いはあるか問いかける。 ・解説を見ながら、迷ったカードから解説をする。 	<input type="checkbox"/> 解説用カード ※HP から事前にデータをダウンロードする <input type="checkbox"/> 解説
展開③ (10分)	・自己紹介の続きをみて、サオリが沖縄で暮らしながら気づいたことを元に、今の自分自身について考え、状況について話し合う。 ・気づいたことや感じたことを共有し合う。	・自己紹介のスライドの続きを見せる。「サオリが沖縄で暮らして気づいたこと」(スライド 8 と 9) を伝え、以下の例を参考に問いかけ、自分の考えを共有する。 例: ① このような状況(または似たような状況)は今でもあるかどうか。 ② 周りのみんなと違っているときはどんな気持ちができるだろうか。 ③ サオリはどんな気持ちだっただろうか。 ④ サオリと同じ状況のなかあなただったらどうしただろうか。 ・そして、スライ 10 から 12 を見て自己紹介終了。	<input type="checkbox"/> PPT スライド 8 と スライド 9 <input type="checkbox"/> スライド 10～12
まとめ (10分)	・サオリからみんなへの手紙を読む。 ・感想をみんなで共有する。	・みんなへの手紙を配布し、みんなで読む。 ・今回はひとりの日系人についての話ではあったが、私達の身近なところでも似たようなことが起きている。サオリはとても頑張ったけれども、ひとりでは解決できない。人は支え合って生きている。望ましい生活に近づける為、みんな考えて行きたい内容であると伝える。	<input type="checkbox"/> みんなへの手紙